



ある詩から ～「美しく生きる」～

目に見えないものって 他人からはよく見えています
「心」は見えませんが「心遣い」は目に見えます
「思い」は見えませんが「思いやり」は目に見えます
「気」は見えませんが「気配り」は目に見えます
本当に大切なものは 他人からはよく見えているものです

左文は、以前のとあるCMで引用された言葉です。先月の4連休、何気なくSNSをチェックしていた時に、たまたまこの言葉を見つけました。私はこのCMの記憶が何となくあります。何故ならばその時期、この言葉の「奥深さ」に、とても感銘を受けていたからです。それと同時に、あの頃の記憶がフッと蘇ってきました。

このCMが放送されたのは2011年(平成23年)3月に未曾有の大被害をもたらした東日本大震災の時です。多くの企業がテレビCMを自粛する中、ACジャパン(社会の公共の福祉に貢献することを目的とした組織)のCMで引用されたものなのですが、この印象深い言葉はどこからきたものなんだろう、と気になって調べてみました。

するとこれは、詩人で作詞家「宮澤章二」さんの『行為の意味』という詩からの抜粋だった、ということが分かりました。(以下、詩の全文です。)

あなたの心はどんな形ですかと 人に聞かれても答えようがない
自分にも他人にも心は見えない けれど本当に見えないのであろうか
確かに「心」は誰にも見えない けれど「心遣い」は見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の「思い」は見えない けれど「思いやり」は誰にでも見える
それも人に対する積極的な行為だから
あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も 初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ

とても素敵な詩だと思いませんか。私は、自分の今までの言動を振り返りながら、何度も読み返しました。果たして自分が発した言葉や行為が、相手にどう伝わり、どのような印象として残っているのか、と。私もこの詩のように、相手への思いに心地よい温かさを添え、「美しく生きたい」と思っています。そんな中、先月、学校でのある出来事がフッと思い出されました。

私が図書室から調理実習用にと両手に抱えられる限りの大量の古新聞を貰い、家庭科職員室に戻っているところ、体育の授業終わりの3年男子生徒達と渡り廊下ですれ違いました。彼等の方から「こんにちは！」と元気よく挨拶してくれた後すぐ、ある一人の生徒が私のその姿を見て、「先生、僕が持ちましょうか？」と声を掛けてくれたのです。なんて優しい生徒なの！とその一言に心を捕まれ、「ありがとう。〇〇くん優しい～。大丈夫だよ。」と返答し、その場を去りましたが、その掛けられた言葉に彼自身の「心」や「思い」が見えた一瞬でした。

このように、彼だけでなく日南高校生は「挨拶も良いし、優しい生徒が多い」と、常日頃から感じています。そして人の良さや温かさが本当に伝わる学校だな、とも思っています。今は、コロナ禍で以前とは違う生活が続き、心身共に疲れて、つい人への気配りがおろそかになる事もあるかも知れません。が、しかし来月に100周年記念式典を迎える伝統校の生徒として、これからもそして今まで以上に「美しく生きる行為」を大切に、後輩達にもその「心」や「思い」をしっかりと伝えていって欲しい、と願っています。

(あの時、優しい声掛けをしてくれた4組のTくん、ありがとう！)

月	日	曜	行事予定(3年に関するもののみ)	朝	夕	備考
10	10	土				
	11	日				
	12	月	普通授業	○	○	7:25校門通過
	13	火	普通授業	○	○	7:25校門通過
	14	水	普通授業⑦各種委員会・放課後進路講座	○	×	7:25校門通過
	15	木	普通授業⑦F人権学習	○	○	7:25校門通過
	16	金	普通授業・進研記述模試	○	×	7:25校門通過
	17	土	進研記述模試 7:30開始			